

5. ～調査で分かった揚網機等への巻き込まれ事故防止のポイント～

揚網機等（揚網機、揚錨機）への巻き込まれ事故で、過去5年間に、乗組員が死亡・負傷した事故が100件以上発生しています。

巻き込まれ事故の約7割（77.6%）は漁網や錨などを揚げる作業中（揚収中）に発生し、約2割（18.0%）は海中に投入作業中（投入中）に発生しています。

揚収中の事故の防止対策

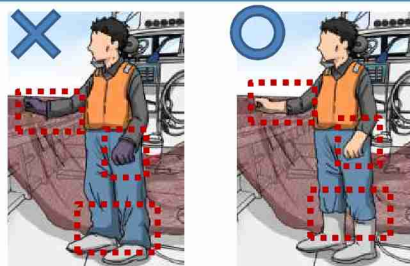
多くの事故は、漁網等の整理作業に集中している状況で、回転中の揚網機等に接近、もしくは手を近づけたことにより発生しています。

船長や漁労長は次のことを指導し、乗組員全員が徹底しましょう。



作業体制について

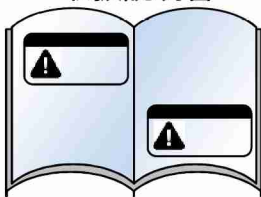
- ・すぐにローラを停止できるように、複数人で作業しましょう。
- ・ローラに触れる場合は、必ずローラを停止させて作業しましょう。
- ・お互いに声を掛け合って作業しましょう。



服装について

- ・裾や袖口をしっかり押さえましょう。
- ・網の固定を行う際は、手袋を外しましょう。

取扱説明書



揚網機等の使用方法について

- ・取扱説明書のとおり正しく使いましょう。

予期せずとつさに手を伸ばしたときの事故を防止するために

- ・網やロープの逆巻きの未然防止に努めましょう。
- ・ローラの緊急停止装置や網の固定専用機器を導入するなど、安全性向上に努めましょう。

ケガをせず漁から戻ってくることを
ご家族は待っています。
～ 安全第一に! ～